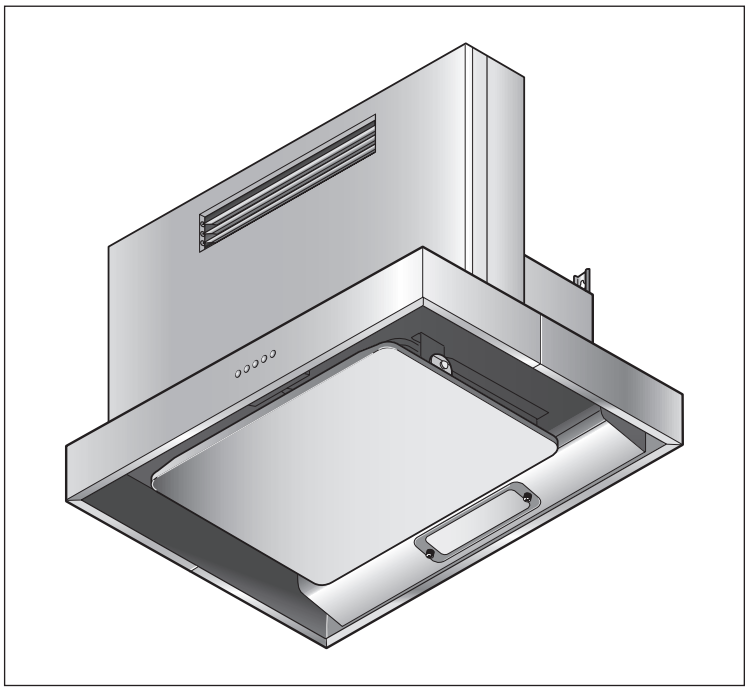
IHクッキングヒーター専用
室 内 循 環 フ ー ド

取付説明書



もくじ

安全上のご注意…… 2・3
取り付け上のお願い……3
取り付け前の調査と準備…… 4・5
各部の名称・製品寸法図……6
　各部の名称 ……6
　製品寸法図 ……6
付属品……7
取り付けかた…… 8～20
　1. 付属品の確認 ……8
　2. 本体の準備 …… 8・9
　3. 本体の取り付け …… 9～11
　4. 循環ユニットの取り付け …… 12～19
　5. 整流板の取り付け …… 19
　6. ルーバーの調整 …… 20
　7. 試運転 …… 20
　8. お客様への説明 …… 20

販売店・工事店様へ：
この取付説明書は取り付け後、施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

1J03 1282
1J031282

安全上のご注意

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の 2 つに区別しています。
　いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警 告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ 注 意：人が軽傷を負う可能性および物的損害*の発生が想定される内容。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警 告

使用禁止

● IHクッキングヒーター以外には使用禁止
ガスコンロには使用できません。
本製品は燃焼発生ガスを浄化できませんので、一酸化炭素中毒の原因となります。

換気をする

● 燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をすること
本製品は屋外への排気および換気をおこないません。
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください。
一酸化炭素中毒の原因となります。

分解・修理・改造禁止

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

取付注意

● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

アースを取り付ける

● アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

取付禁止

● 周囲温度が 40℃以上になる所には取り付けないこと
火災・故障の原因となります。

取付注意

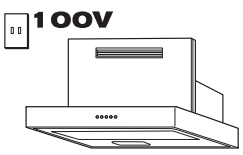
● 室内循環フードの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないようにすること
漏電した場合、発火するおそれがあります。

埋込禁止

● 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります。

使用禁止

● 交流 100 V以外では使用しないこと
火災・感電の原因となります。



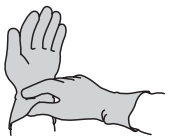
安全上のご注意

⚠ 注 意

手袋をする

● **取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること**

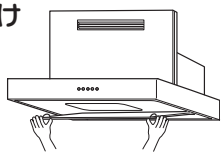
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります。



取付注意

● **ファンや部品の取り付けは確実に行うこと**

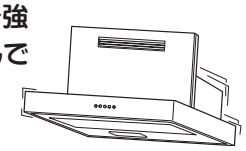
落下によりけがをするおそれがあります。



取付注意

● **本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと**

落下によりけがをすることがあります。



使用禁止

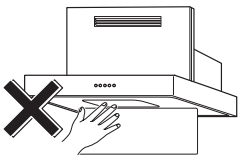
● **浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）**

感電および故障の原因になります。
（本製品には換気機能はありません。）

接触禁止

● **運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと**

けがをすることがあります。



取り付け上のお願い

● **下記は「建設工事」に区別され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。**

- **大工工事**
  （設置のための地下工事等）
- **配線工事**
  （コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等）

流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。

● **室内循環フードは、屋外への排気をしません。**
備え付けのＩＨクッキングヒーター以外の燃焼器具を使用するには、キッチン全体の換気のため、別の換気設備が必要です。

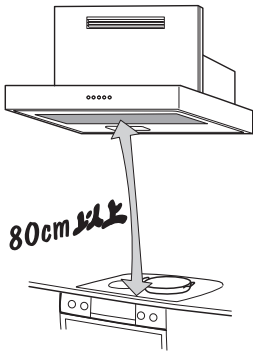
● **室内循環フード本体と可燃物との間は 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。**

● ＩＨクッキングヒーターの幅は室内循環フードの幅以内のものをご使用ください。
またＩＨクッキングヒーターは室内循環フードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集効率が低下します。

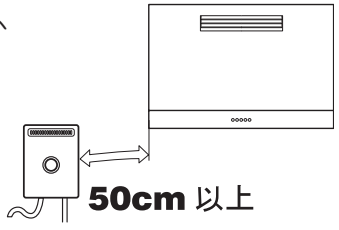
● 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。火災・故障の原因となります。

● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

● 製品はＩＨクッキングヒーターの真上に取り付けてください。なお、製品取付高さは、製品の下端がＩＨクッキングヒーターの真上 80cm 以上になるようにしてください。



● 室内循環フード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。
また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。



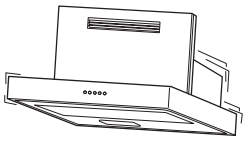
取り付け前の調査と準備

⚠ 注 意

取付注意

● **室内循環フード本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強桟等に確実に行うこと**

落下によりけがをすることがあります。
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。



お願い

室内循環フード取付面の木部に、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。
本体の取付用ねじは 45mm の長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に木部に届くことを確認してください。
また、室内循環フード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

1 取付面の強度確認

製品を支える強さが必要です。

製品質量（kg）

	600 幅	700 幅	900 幅
フード部（取り付けで最初に持ち上げる質量）	27.0	29.0	31.0
製品全体（最終的に壁にかかる質量）	40.0	42.0	44.0

■ 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理を行ってください）

- 板厚が 20mm 以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板に室内循環フードを取り付けてください。
- 板厚が 20mm 以上の場合は補強板は不要です。

■ コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■ 土壁の場合

- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

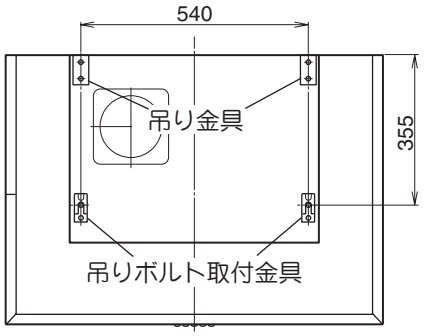
取り付け前の調査と準備

2 吊りボルトの設置

２本の吊りボルトを右図および製品寸法図を参照して天井部梁に取り付けます。

※ 吊りボルトは M10（市販品）を使用してください。

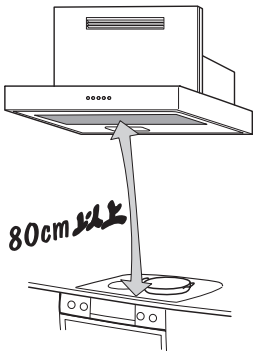
※ 吊りボルトは耐荷重 200kg ／本となるように取り付けてください。



3 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、ＩＨクッキングヒーターの上面から製品の下端まで 80cm です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理器具の真上 80cm 以上必要となっています。



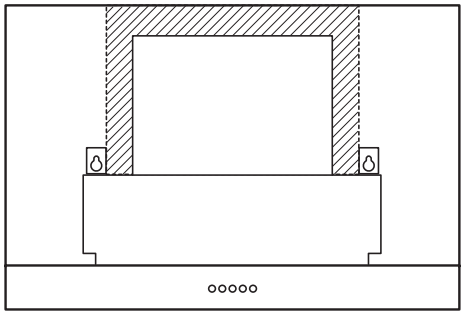
4 電源コンセント・ブレーカ

■ 電源コンセント・ブレーカは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）

■ コンセントは、JIS C 8303 2 極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

■ コンセントは事前に製品寸法図を参照し、循環ユニット本体のサイズに合わせて右図に示す斜線の範囲内に設置してください。

■ 必ずアース（D 種設置工事）をしてください。
室内循環フードが誤作動することがあります。



⚠ 警 告

分解・修理・改造禁止

● **修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

使用禁止

● **交流 100 V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因になります。

取付注意

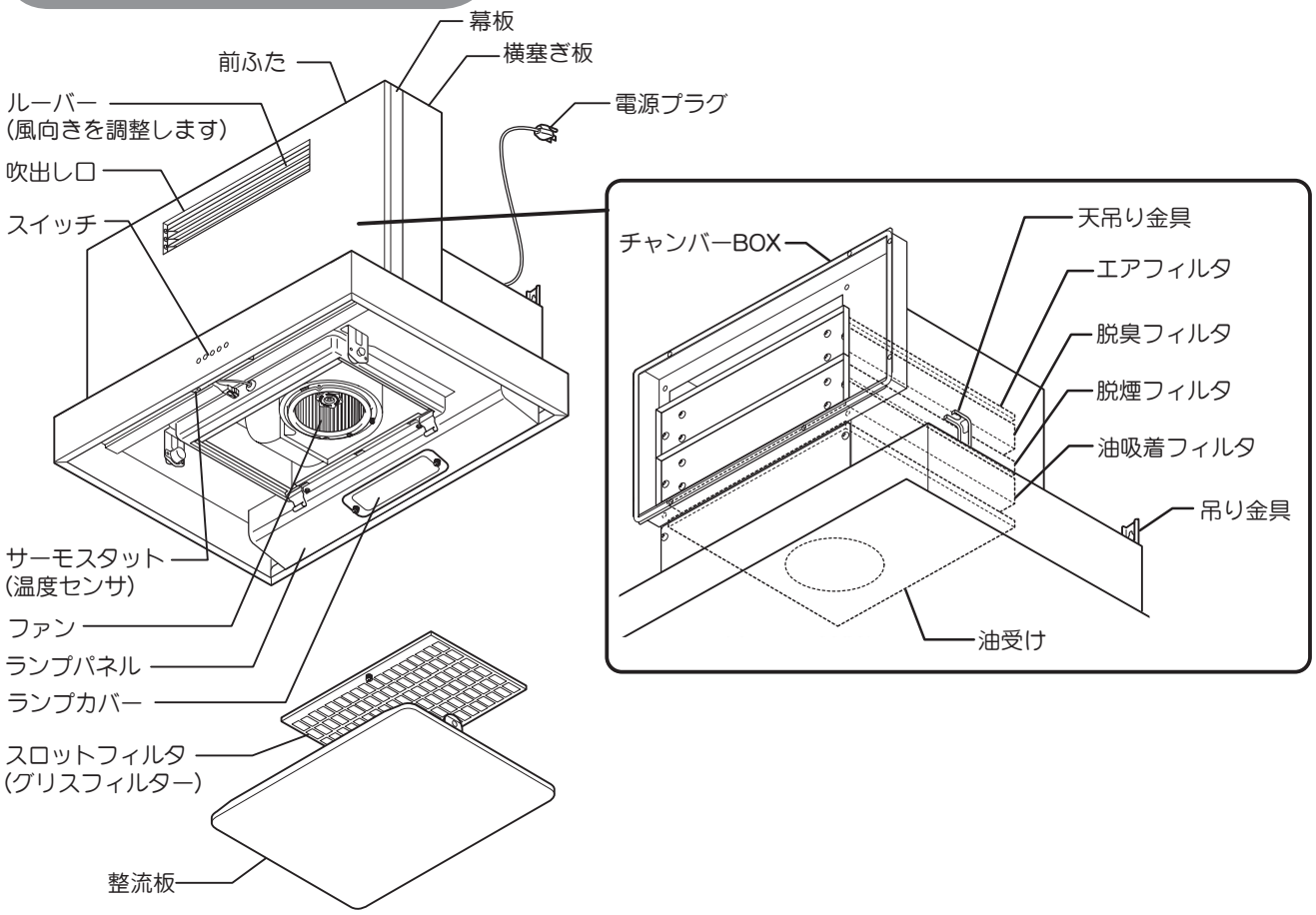
● **電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと**
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

アースを取り付ける

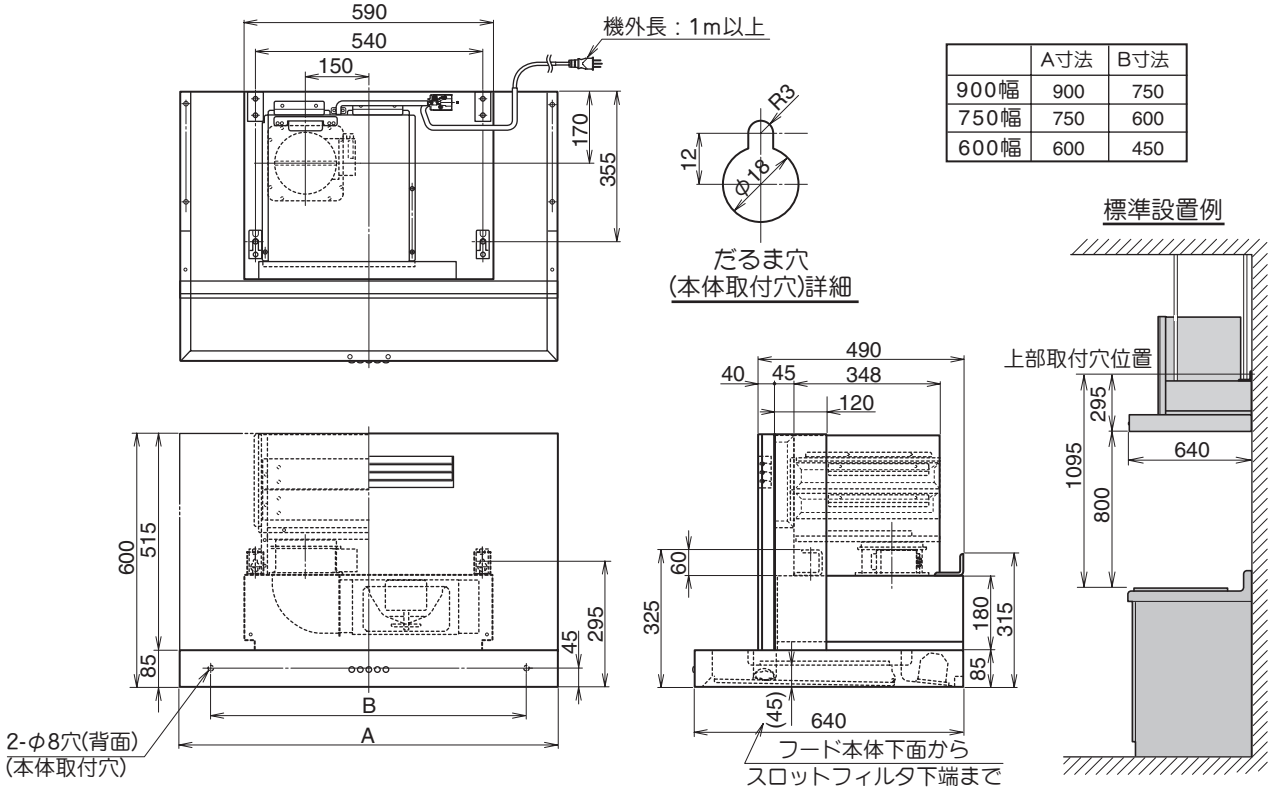
● **アースを確実に取り付けること**
故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

各部の名称・製品寸法図

各部の名称

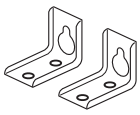
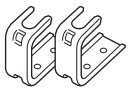
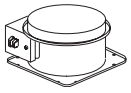
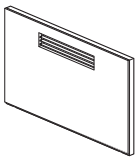
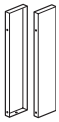
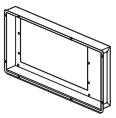


製品寸法図

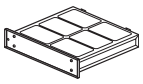
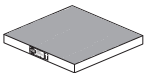
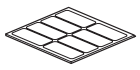
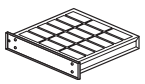
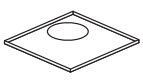
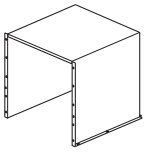
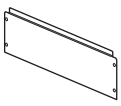


	A寸法	B寸法
900幅	900	750
750幅	750	600
600幅	600	450

付属品

	座付ねじ φ 5.1 × 45 （4 本）	本体の取り付けに使います。		**吊り金具 （2 個）**	本体上面に取り付けます。
	取付ねじ M4 × 10 （21 本）	本体と循環ユニット、チャンバー BOX と循環ユニット、幕板とチャンバー BOX、横塞ぎ板とフードおよび油吸着フィルタ、脱臭フィルタを取り付けます。		**天吊り金具 （2 個）**	本体上面に取り付けます。
	取付ねじ M4 × 8 （4 本）	幕板と横塞ぎ板の取り付けに使います。		**ソフトテープ （1 本）**	排気口と油受けとの隙間をふさぐのに使います。
	**排気口 （電動シャッター） （1 個）**	本体と循環ユニットの接続に使います。 取付ねじは本体に取り付いています。		**幕板 （1 個）**	フードの上部に取り付けます。
	**横塞ぎ板 R/L （各 1 個）**	幕板の横を塞ぐのに使います。		**チャンバー BOX （1 個）**	幕板と循環ユニットを継ぐのに使います。

■循環ユニット付属品（別梱包）

	**脱臭フィルタ （1 個）**	循環ユニットの構成部品です。		**脱煙フィルタ （1 個）**	循環ユニットの構成部品です。
	**エアフィルタ （1 個）**			**油吸着フィルタ （1 個）**	
	**油受け （1 個）**			**循環ユニット本体 （1 個）**	
	**循環ユニット前ふた （1 個）** ※ 循環ユニットにねじで固定されています。				

取り付けかた

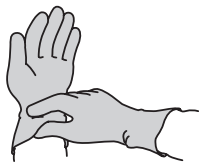
1. 付属品の確認

⚠ 注 意

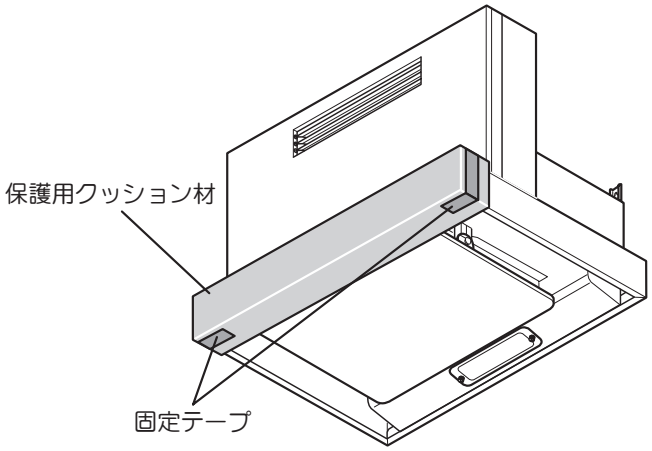
手袋をする

● **製品取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること**

鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



梱包箱から排気口、座付ねじ等の付属品を取り出し、7ページの付属品一覧により不足がないか確認してください。



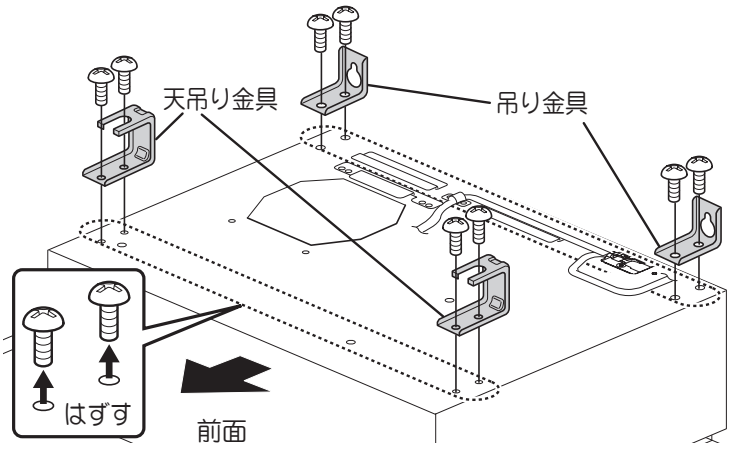
お願い

- 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- 各種フィルタ類の取り扱いには十分ご注意ください。落下させたり強くぶつけたりすると、フィルタ内部を破損するおそれがあります。
- 床で作業する場合、本体および床にキズをつけないため、必ずシートを敷いた上で作業を行ってください。
- 保護用のクッション材と固定テープは取付作業が完了するまでキズ、破損防止のためはずさないでください。

2. 本体の準備

1 天吊り金具および吊り金具を取り付けます。

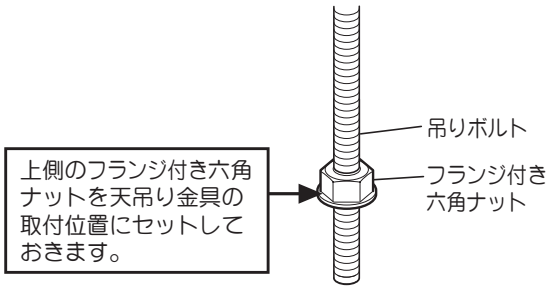
本体の天板に2本ずつあらかじめ取り付けられているねじを使用し、付属品の天吊り金具2個および吊り金具2個を図のように天板へ取り付けます。



取り付けかた

2 **吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。**

上側のフランジ付き六角ナットの位置（天吊り金具取付位置）は製品寸法図を参考にあらかじめセットしておくと後作業が容易になります。



吊りボルト、フランジ付き六角ナットは取付作業者側で手配願います。

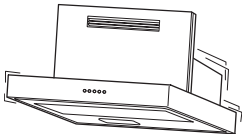
3. 本体の取り付け

⚠ 注 意

取付注意

● **本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと**

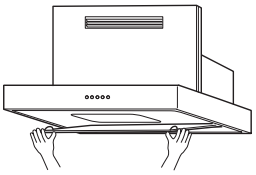
落下によりけがをすることがあります。



取付注意

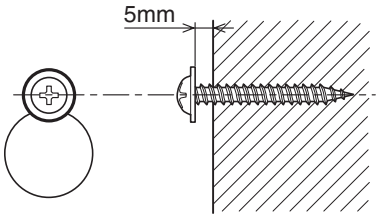
● **部品の取り付けは確実に行うこと**

落下によりけがをするおそれがあります。



1 **製品寸法図を参考にして付属の座付ねじ（φ 5.1 × 45）をねじ込みます。**

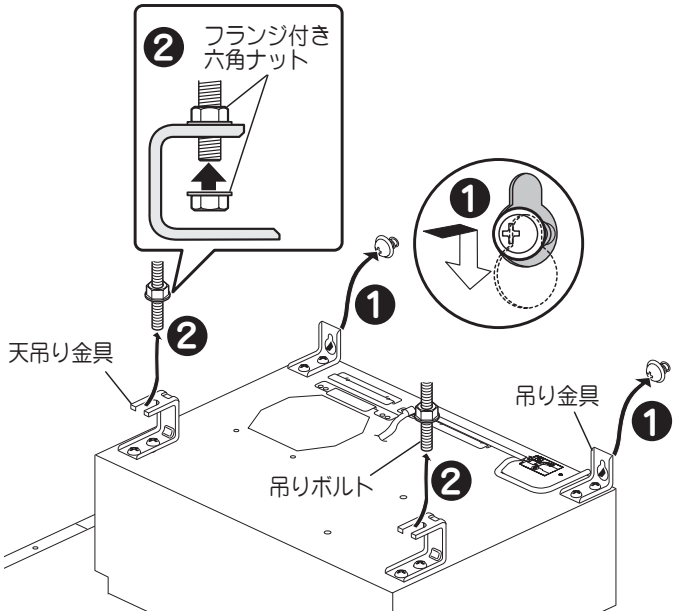
だるま穴位置（左右各 1 ヶ所）に座付ねじ（φ 5.1×45）を壁面との隙間 5mm まで締め付けてください。



取り付けかた

2 本体を取り付けます。

吊りボルト先端を天吊り金具に通しながら座付ねじに本体のだるま穴を引っ掛けた後、しっかり締め付けてください。
（ ❶ ）



3 天吊り金具に固定します。

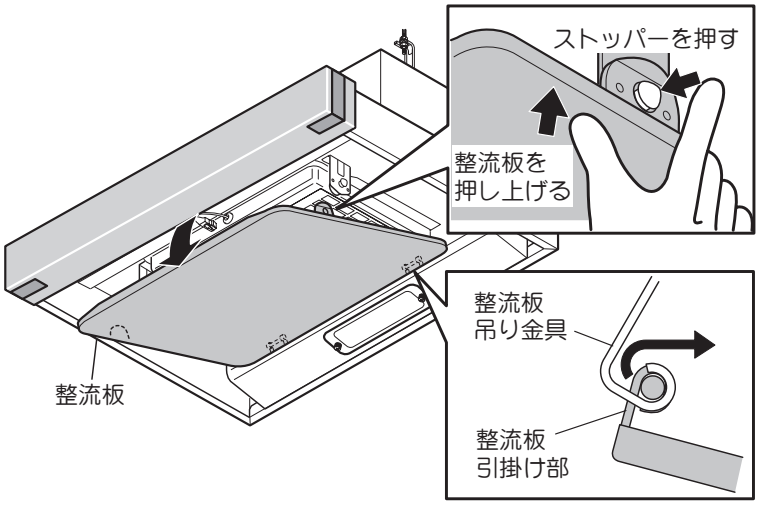
下側からフランジ付き六角ナットで天吊り金具をしっかりと締め付けて固定します。
（ ❷ ）

お願い
本体の水平度を確認しながら固定してください。

4 整流板をはずします。

整流板の左右を両手で支え、押し上げます。
左右のストッパーを押し込みながらゆっくりと 10cm 程度おろした状態で、整流板を少し奥に押しながら上に持ち上げ、整流板吊り金具からはずします。

※ 必ず左右同時にはずしてください。
整流板吊り金具の変形の原因になります。



取り付けかた

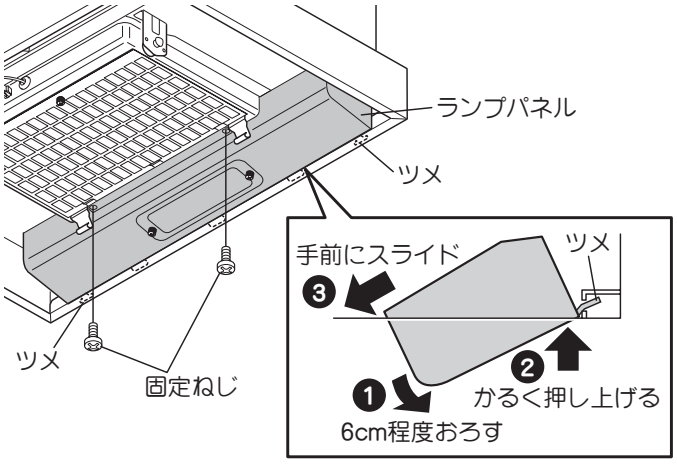
5 ランプパネルをはずします。

1）2 ケ所のランプパネル固定ねじをはずします。

2）前側を 6cm 程度おろし、そのままの状態で後側をかるく押し上げ、手前にスライドさせて後側両端にあるツメ2ケ所をはずし、ランプパネルをはずします。

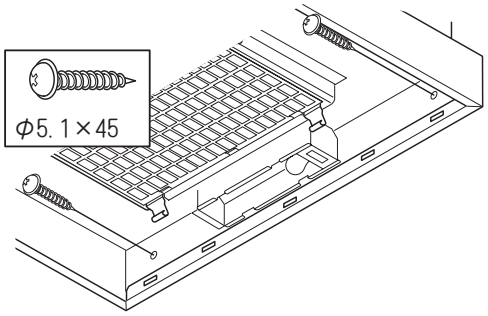
お願い

内部の配線を傷つけたり、はさんだりしないでください。



6 本体背面をねじで固定します。

座付ねじ（φ 5.1 × 45）2 本で本体の背面をしっかりと固定します。



7 ランプパネルを取り付けます。

ランプパネルをはずしたときと逆の手順で取り付けます。

取り付けかた

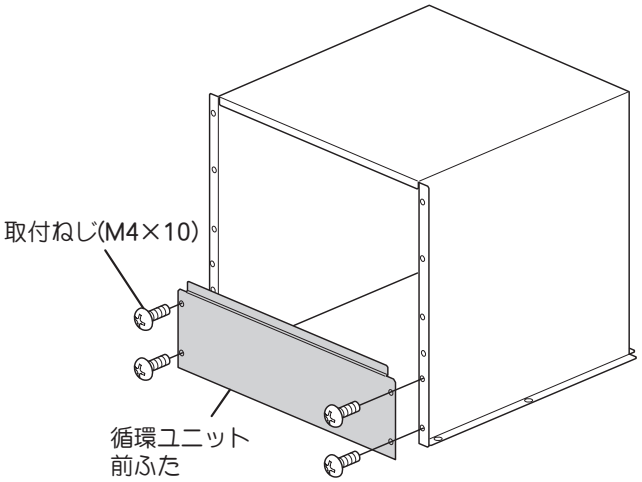
4. 循環ユニットの取り付け

梱包箱から循環ユニット本体、脱臭フィルタ、脱煙フィルタ、エアフィルタ、油吸着フィルタ、油受けを取り出し、 7ページの付属品一覧により不足が無いか確認してください。

1 前ふたをはずします。

循環ユニットから前ふたの取付ねじ（M4 × 10）4 本をはずして、前ふたをはずします。

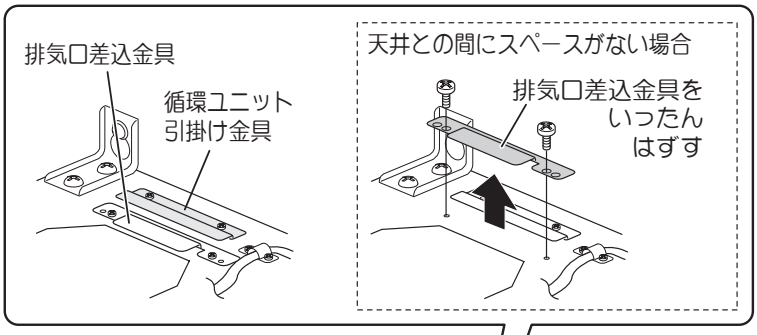
※ はずしたねじは後で使用しますのでなくさないでください。



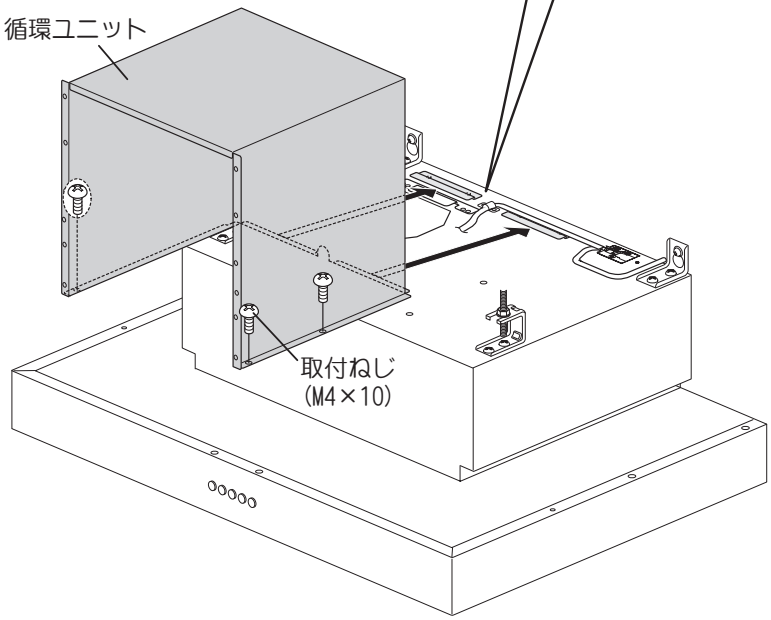
2 循環ユニットをファンユニットに取り付けます。

1）循環ユニット後ろ側の切り欠き部に排気口用のコードを入れ、循環ユニット引掛け金具にスライドさせて差し込みます（左右 2 ケ所）。

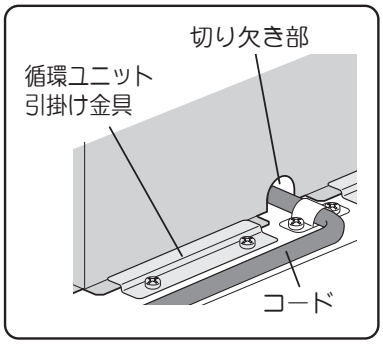
※ 循環ユニットと天井との間にスペースがなく、取り付けが困難な場合は、排気口差込金具をいったん取りはずして循環ユニットを取り付けてください。



2）付属の取付ねじ（M4 × 10）3 本で固定します。



循環ユニット取付後
（背面から見た図）



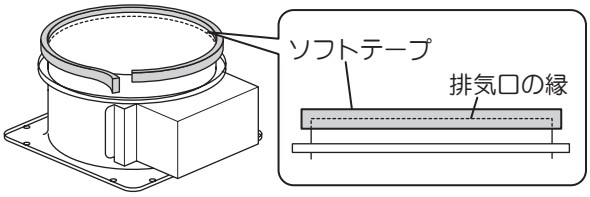
取り付けかた

3 排気口を取り付けます。

お願い
手動でシャッターを開閉すると故障の原因となりますのでおやめください。

1）付属品の排気口とソフトテープを準備します。

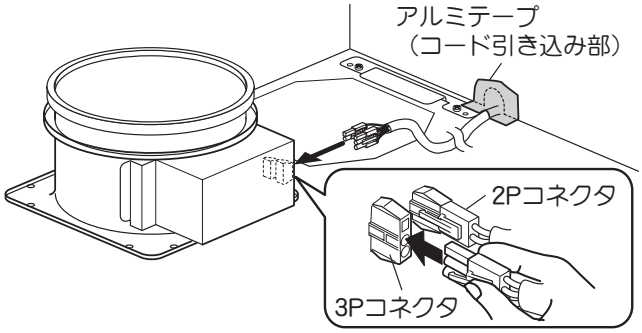
2）排気口の縁から少しはみ出すように（右図参照）
ソフトテープを巻きます。



お願い
ソフトテープを右図の位置にしっかりと巻いてください。
排気漏れの発生するおそれがあります。

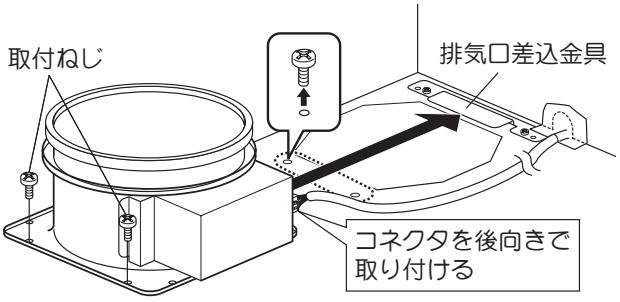
3）本体部のコネクタ付コードを排気口のコネクタに接続します。

4）風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を循環ユニット内側からコード引き込み部に行ってください。

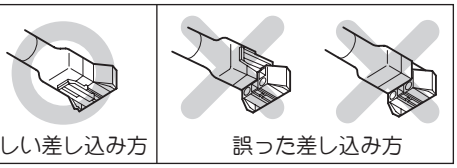


5）本体に取り付けられている取付ねじ２本をはずし、コネクタを後ろ向きにして排気口を差込口に差し込み、はずした取付ねじ2本で取り付けます。

※ 前ページ手順２の1）で排気口差込金具をはずした場合は排気口を取り付ける前に、排気口差込金具を取り付けてください。



お願い
コネクタの接続について
コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。
接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。

コネクタを挿入する場合		

取り付けかた

4 電源プラグを接続します。

「取り付け前の調査と準備」手順 4（5 ページ）で設置した専用コンセントに電源プラグを接続します。
ブレーカは安全のため「7. 試運転」（20 ページ）まで「入」にしないでください。

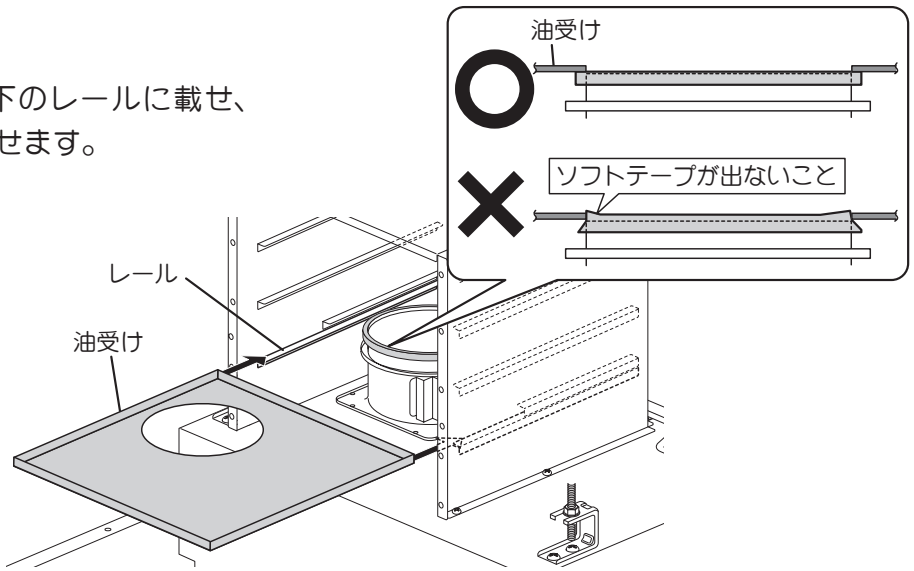
お願い
電源プラグのコンセント接続は、必ず排気口にコネクタを取り付けた後に行ってください。

5 油受けを取り付けます。

油受けを循環ユニットの一番下のレールに載せ、奥に突き当たるまでスライドさせます。

お願い

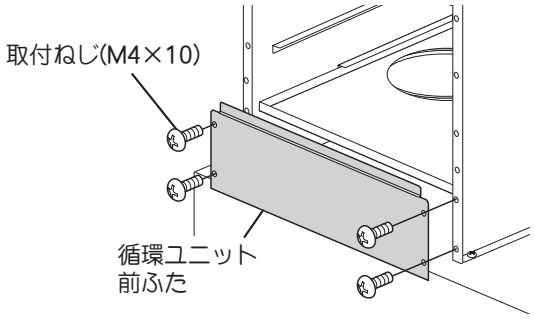
- 油受けの開口部（丸穴）と排気口が合っていることを確認してください。
- 油受けの開口部（丸穴）から排気口の縁に巻いたソフトテープが出ていないことを確認してください（補図参照）。



6 前ふたを取り付けます。

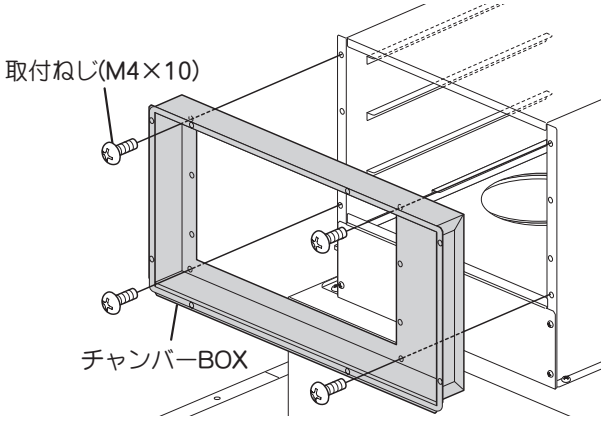
前ふたを取付ねじ（M4 × 10）4 本で取り付けます。

※ 手順1（12 ページ）ではずしたねじを使用します。



7 チャンバー BOX を取り付けます。

チャンバーBOX を付属の取付ねじ（M4 × 10）4 本で取り付けます。



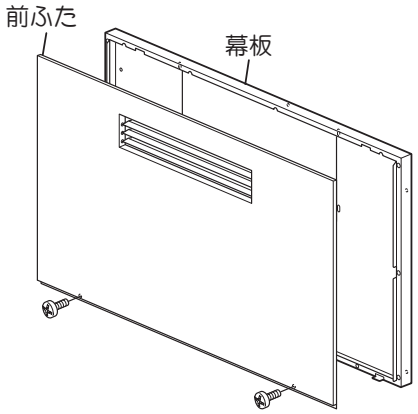
取り付けかた

8 幕板を取り付けます。

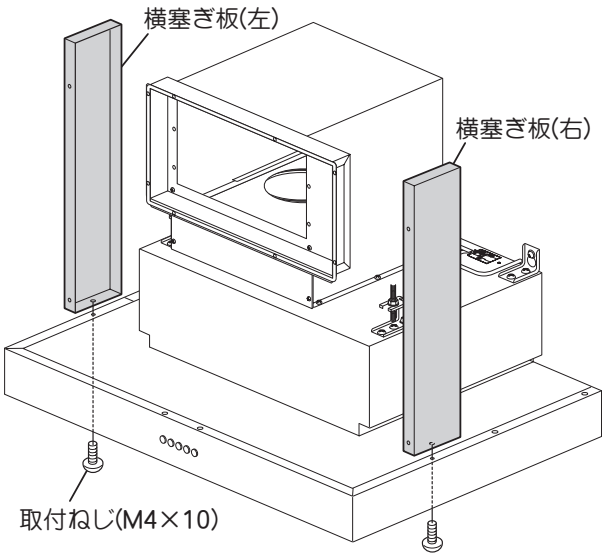
1）付属品の幕板を準備します。

2）下側の取付ねじ 2 本をはずし、前ふたをはずします。

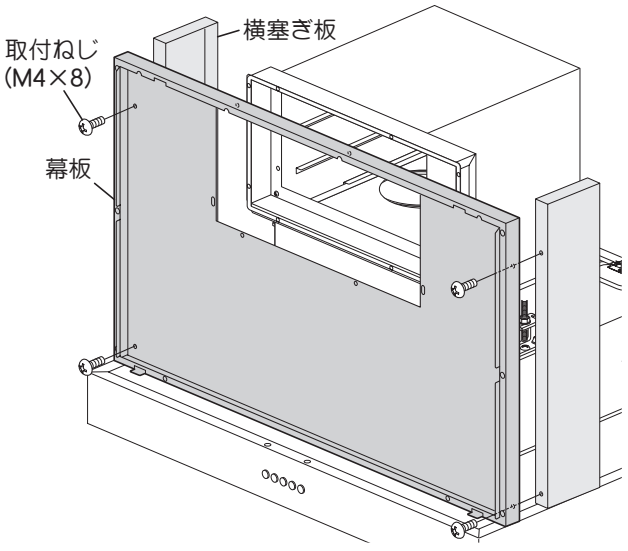
※ はずしたねじは後で使用しますのでなくさないでください。



3）横塞ぎ板（左右）を取り付けます。
横塞ぎ板の左右に注意して、取付ねじ（M4 × 10）2 本でフード内面（下側）より取り付けます。

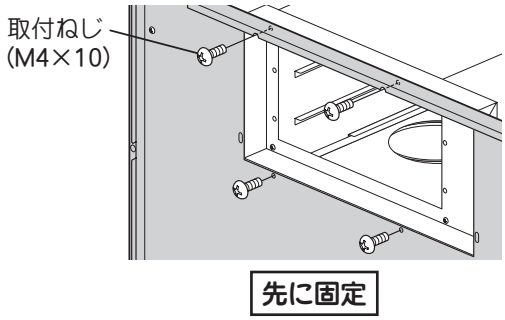


4）幕板を横塞ぎ板に取付ねじ（M4 × 8）4 本で固定します。

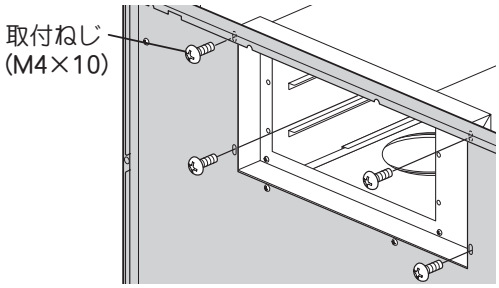


取り付けかた

5）付属の取付ねじ（M4 × 10）8 本で幕板をチャンバー BOX に取り付けます。
※ 内側の 4 本を先に固定してください。



先に固定



9 各フィルタを取り付けます。

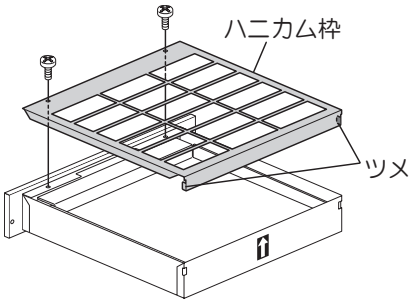
お願い

- 各種フィルタ類の取り扱いには十分ご注意ください。
  落下させたり強くぶつけたりすると、フィルタ内部を破損するおそれがあります。
- フィルタの粉が落ちる場合があります。
  粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなることがありますので取り扱いには十分注意してください。

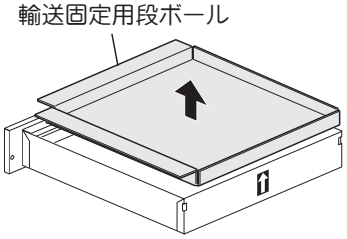
■ 脱煙フィルタの組み立て

脱煙フィルタは油吸着フィルタに重ねた状態でハニカム枠に収納され、本体に取り付けますが、出荷時は別梱包になっています。

1）ハニカム枠上側のねじ 2 本をはずし、ハニカム枠を開きながら、下側 2 ヶ所のツメをフレームからはずして取り除きます。

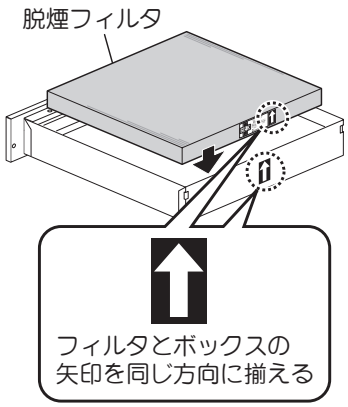


2）輸送固定用ダンボールを取り除きます。



取り付けかた

3）脱煙フィルタを袋から取り出し、ボックス下側の矢印ラベルの方向と揃えて脱煙フィルタをセットします。



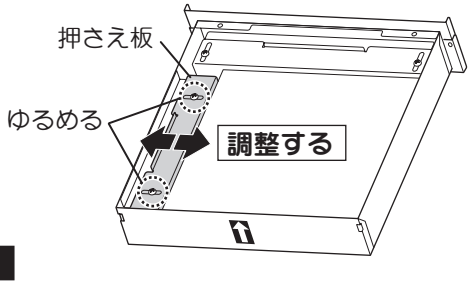
お願い

必ず脱煙フィルタとボックス下側の矢印を揃えてセットしてください。誤った取り付けをすると性能が悪化したり、吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因となることがあります。

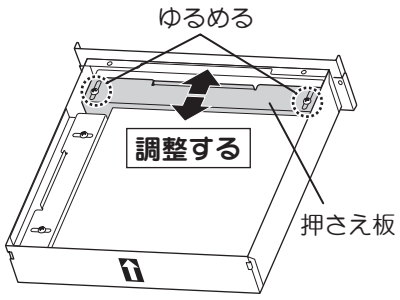
■ 脱煙フィルタが入りにくい場合は

フィルタの奥行きや幅の大きさに若干のバラツキがあります。
ボックスに脱煙フィルタが入りにくい場合は下図に示す箇所のねじを少し緩めて押さえ板をずらしてから脱煙フィルタを挿入してください。
挿入後は脱煙フィルタにガタがないように押さえ板の位置を調整し、再度ねじを締め付けてください。

左右が入りにくい場合



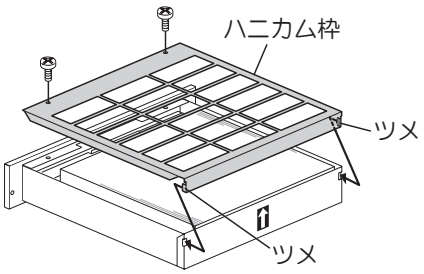
前後が入りにくい場合



お願い

脱煙フィルタを挿入した後は、脱煙フィルタにガタがないように必ず押さえ板の位置を調整し、ねじを締め付けてください。性能の低下や異音の原因になります。

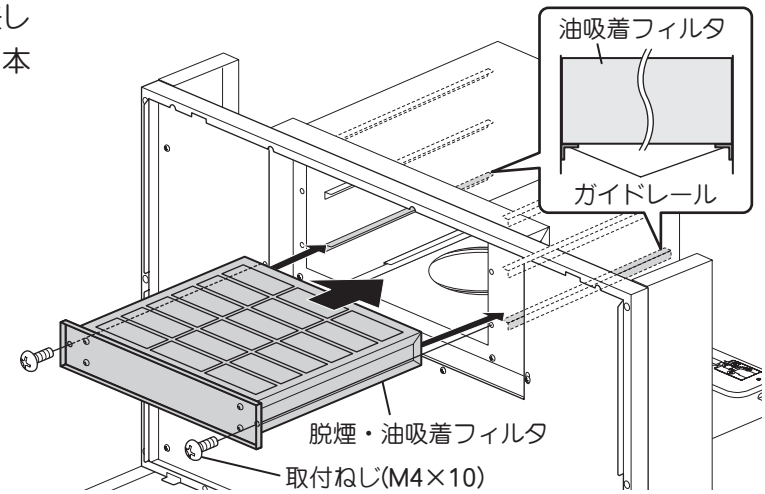
4）ハニカム枠下側のツメをボックス下側の穴に合わせてふたをし、上側をはずしたねじ 2 本で固定します。



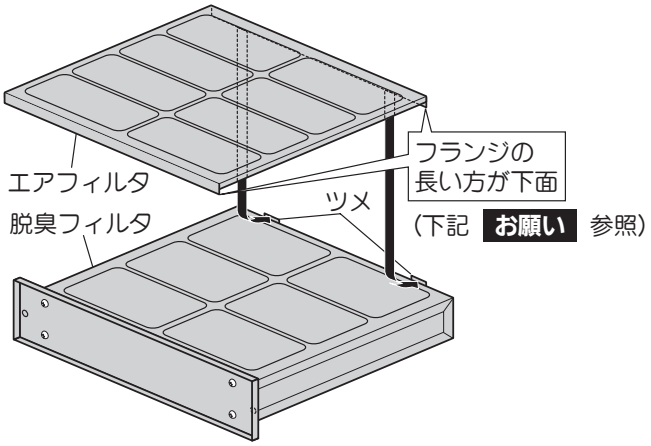
取り付けかた

■ 各フィルタの取り付け

1）脱煙・油吸着フィルタを図のように差し込み、付属の取付ねじ（M4 × 10）2 本で固定します。

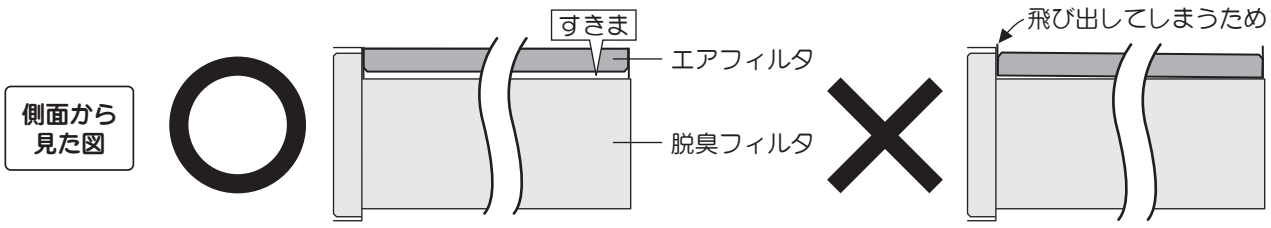


2）脱臭フィルタの奥側のツメに当てるようにしてエアフィルタを載せます。



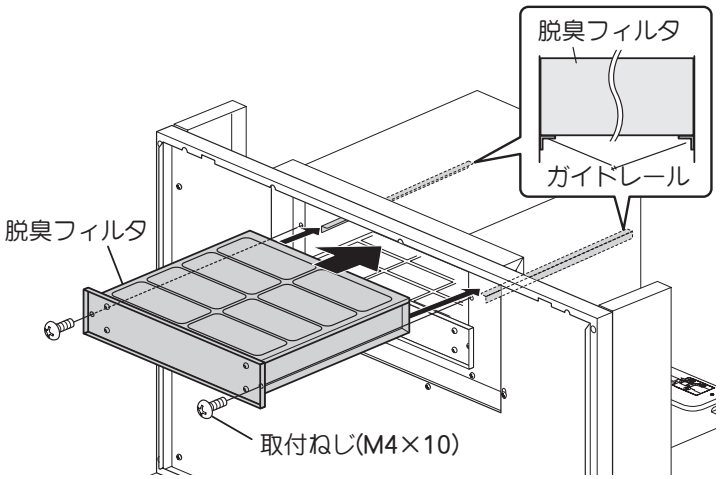
お願い

エアフィルタを載せる際は、脱臭フィルタとエアフィルタとの間にすきまが空く面を下側にしてください。



取り付けかた

3）脱臭フィルタを脱煙・油吸着フィルタの上に差し込み、付属の取付ねじ（M4 × 10）2 本で固定します。

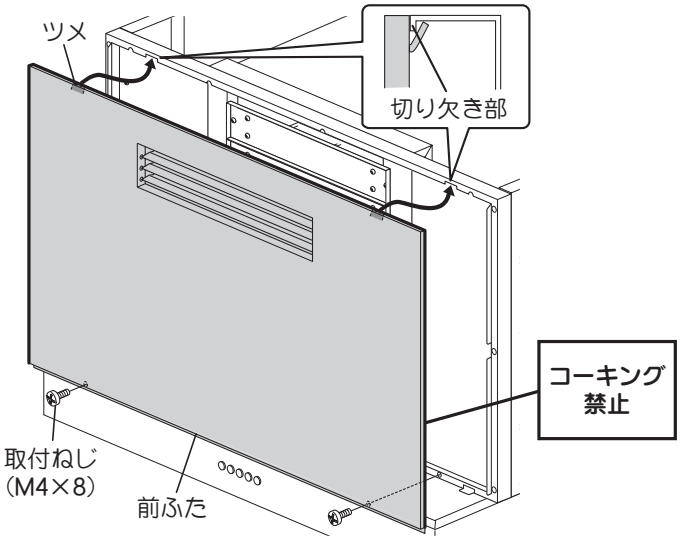


10 前ふたを取り付けます。

前ふたの上側のツメを幕板の切り欠き部に引っ掛けて下側を取付ねじ（M4 × 8）2 本で固定します。

お願い

フィルタを交換する際に前ふたを取りはずしますので、前ふたの外周はコーキングをしないでください。



5. 整流板の取り付け

整流板を取り付けます。

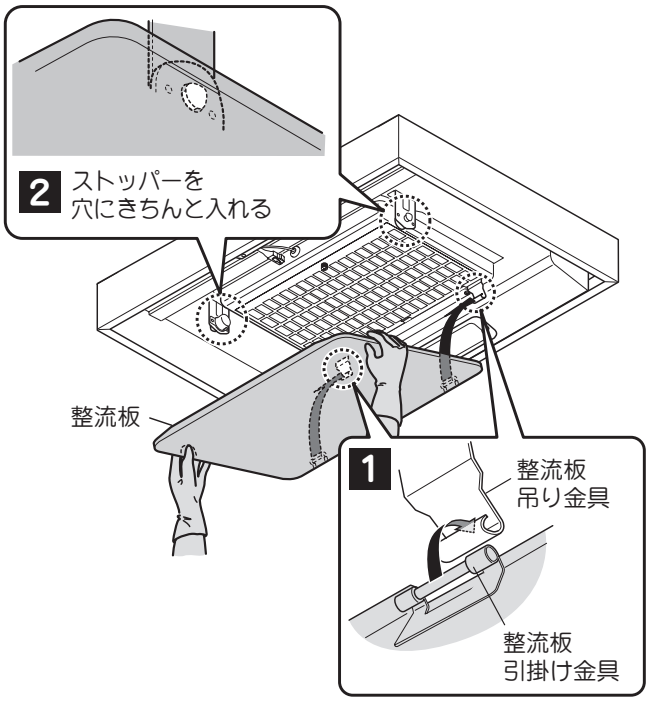
整流板を取りはずしたとき（10 ページ）と逆の手順で取り付けてください。

整流板引掛け部をフードの吊り金具に引っ掛けます。

前端をゆっくり持ち上げてパチンと音がするまで押し込んでください。

お願い

整流板を軽く下に引いてみて、確実に取り付けられたことを確認してください。

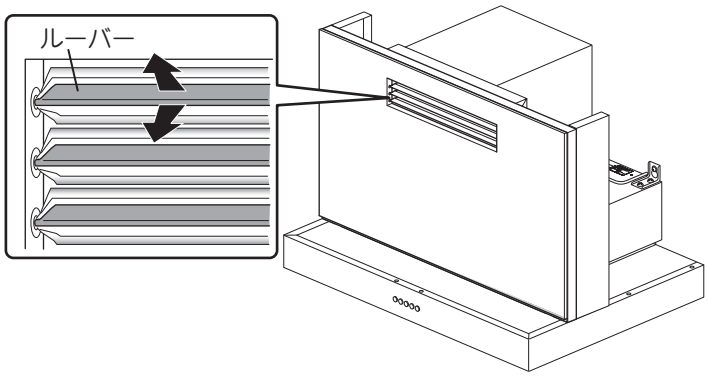


取り付けかた

6. ルーバーの調整

ルーバーの向きを調整します。

前ふた上部にある吹出し口のルーバーの向きを、適宜調整してください。



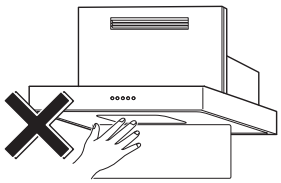
7. 試運転

⚠ 注 意

接触注意

● **運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと**

けがをすることがあります。



■ 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
■ 運転時、各速調が正しく運転されていることを確認してください。
■ 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
■ 製品の吹出し口から排気され、異常音がないことを確認してください。
■ 取り付けまたは工事で発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

8. お客様への説明

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

〔製造元〕富士工業株式会社
本社・営業部 〒252−0206　相模原市中央区淵野辺２丁目１－９
TEL 042(768)3754（営業部）